

アジア主要国の景気概況

～中国・N I E s ・ A S E A N ・ インド～

<2005年6月号>

【目次】

. 中華圏・韓国	
1 . 中国経済の概況…景気は依然として拡大基調が続く	… p . 1
2 . 中国の主要指標解説：高成長の原動力、海外からの直接投資	… p . 3
3 . 台湾経済の概況…景気は底堅く推移	… p . 5
4 . 韓国経済の概況…景気は足踏み状態に	… p . 6
. A S E A N ・ インド	
1 . タイ経済の概況…05年第1四半期の成長率は3.3%に鈍化	… p . 7
2 . インドネシア経済の概況…内外の信認回復を背景に景気堅調	… p . 8
3 . マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標	… p . 9
4 . インド経済の概況…輸出・生産の堅調な拡大が続く	… p . 10
5 . A S E A N 経済の注目点…対A S E A N 直接投資の動向	… p . 11
. アジア通貨・株価動向	… p . 12



【お問い合わせ先】調査部(東京) 海外経済班

野田 (E - Mail : ndmariko@ufji.co.jp)

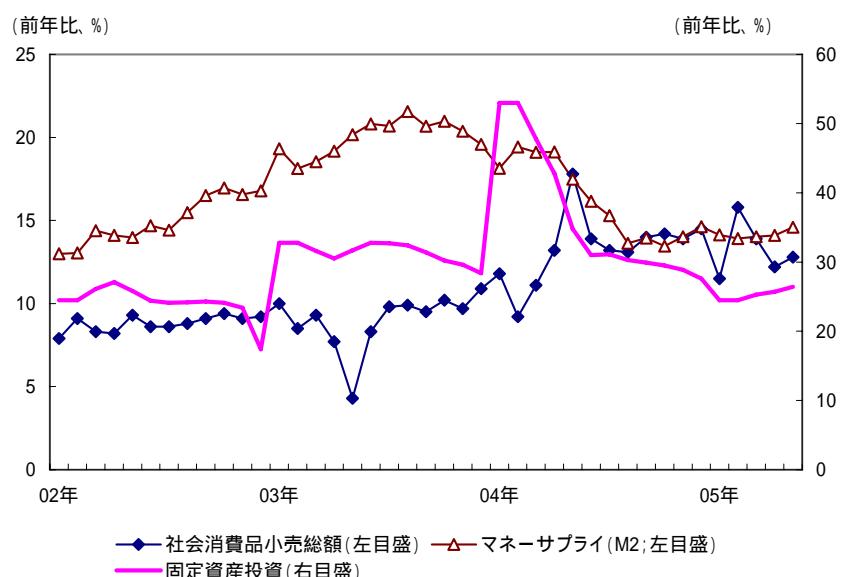
本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

. 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- 景気は、消費の堅調と投資・輸出の好調持続を背景に、拡大基調が続いている。投資・輸出の堅調を受け、5月の鉱工業生産（付加価値額）は前年比16.6%増と一段と伸び率を高めている。
- 5月の社会消費品小売総額は前年比12.8%増と前月の同12.2%増から持ち直し、5月の連休中の消費が堅調であったことを示唆している。また、4月以降、回復に転じた乗用車販売は5月には一部メーカーでの新モデル投入効果などもあり、前年比24.5%増と大幅に拡大した。
- 固定資産投資は、資源、エネルギー、物流関連など中国経済のボトルネックといわれる分野を中心に拡大が続いている。一方、都市部を中心にバブル的な様相を見せる不動産については、政府が矢継ぎ早に過熱抑制策を打ち出しており、不動産投資の伸び率は徐々に鈍化している。
- 他方、輸入も03年以降、前年比3割から5割増の勢いで拡大していた原材料、機械・輸送機械類を中心に在庫調整が続いていると見られ、輸出に比べて落ち着いた伸びにとどまっている。
- 5月の消費者物価上昇率は、食品価格の一段の沈静化を背景に前月と同じ前年比1.8%と安定的な水準にとどまった。一方、生産者物価上昇率は同5.9%と前月を0.1%ポイント上回っており、川上段階では引き続きインフレ圧力が高い状態が続いている。

主要経済指標の動き



【中国・香港の主要経済指標】

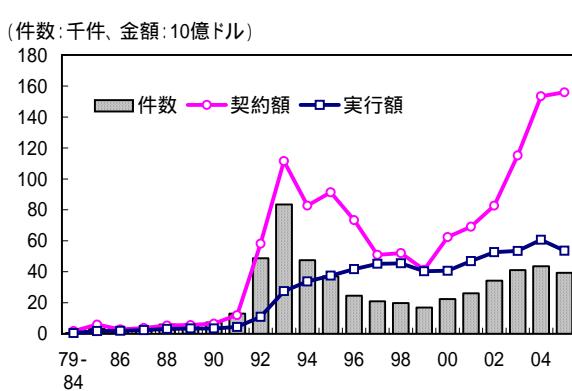
			2002年	2003年	2004年	04/1Q	04/2Q	04/3Q	04/4Q	05/1Q	05/4月	05/5月	
中國	G D P	実質 G D P 成長率 (累計ベース)	前年比%	8.3	9.5	9.5	9.8	9.6	9.1	9.5	9.4		
		前年比%					9.8	9.7	9.5	9.5	9.4		
	消費	名目 G D P 成長率	前年比%	8.1	11.6	16.6	14.3	15.6	16.3	16.6	14.9		
		社会消費品小売総額	前年比%	8.8	9.0	13.3	10.7	15.0	13.4	14.2	13.7	12.2	
		うち市	前年比%	14.6	14.9	16.4	16.0	20.5	14.4	15.0	14.7	13.1	
		うち県	前年比%	6.0	12.7	14.6	14.3	16.5	13.5	14.3	12.8	10.8	
		うち県以下	前年比%	7.6	9.2	11.5	11.4	11.8	10.6	11.9	11.2	10.2	
		自動車販売台数	前年比%	37.5	33.5	16.9	31.0	21.4	7.9	9.8	0.8	7.8	
		うち乗用車	前年比%	56.4	71.5	19.3	49.0	23.0	7.1	7.5	9.3	7.1	
		消費者自信指数	期中平均	97.3	93.1	92.9	95.3	92.6	91.1	92.6	93.9	94.7	
		消費者期待指数	期中平均	97.3	92.4	91.7	94.1	90.9	89.8	92.0	94.6	95.2	
	投資	固定資産投資(都市部・50万元以上；累計ベース)	前年比%	17.4	28.4	27.6	47.8	31.0	29.9	27.6	25.3	25.7	
		うち不動産・居住用建物	前年比%	21.9	29.7	25.3	33.7	26.5	26.0	25.3	24.4	22.3	
		うち国内企業	前年比%				45.6	29.6	27.8	26.1	25.5	25.8	
		うち製造業	前年比%				75.8	42.0	41.7	36.3	25.6	28.8	
		うち鉄鋼	前年比%				106.4	51.5	34.2	26.9	1.4	3.9	
		うち輸送機械	前年比%				80.6	50.9	51.4	43.2	41.5	38.2	
		うち電気機械	前年比%				120.9	47.9	66.8	64.2	40.2	37.5	
		うち情報通信機器	前年比%				17.0	10.8	41.8	32.7	40.3	29.8	
		直接投資契約額(累計ベース)	前年比%	19.6	39.0	33.4	46.6	42.7	35.6	33.4	4.5	8.0	
		直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	12.5	1.4	13.3	6.5	12.0	21.0	13.3	9.5	2.2	
	貿易 及び 外貨 準備	不動産景気指数	期中平均	104.4	107.1	105.8	107.3	105.6	105.1	105.1	102.8	101.9	
		貿易収支	10億ドル	30.3	25.4	32.8	8.4	1.7	11.5	28.1	16.6	4.6	
		輸出(ドルベース)	前年比%	22.1	34.6	35.4	34.1	37.1	34.7	35.6	34.7	31.9	
		輸入(ドルベース)	前年比%	21.2	39.9	35.8	42.1	42.9	30.1	30.4	12.2	16.6	
		対米貿易収支	10億ドル	42.7	58.6	80.3	12.4	19.0	23.5	25.5	21.4	8.8	
	生産	対日貿易収支	10億ドル	5.0	14.8	20.7	5.5	5.9	6.2	3.0	2.8	1.3	
		外貨準備	期末10億ドル	286.4	403.3	609.9	439.8	470.6	514.5	609.9	659.1	670.8	691.0
		鉱工業付加価値額	前年比%	12.7	16.7	16.3	16.6	17.6	15.8	15.0	14.5	16.0	
		うち国有企業	前年比%	11.5	14.1	13.7	14.2	14.5	12.9	13.0	10.9	11.9	
		うち株式企業	前年比%	14.3	18.0	16.6	17.2	17.6	15.9	15.6	15.8	17.9	
		うち外商・港台澳企業	前年比%	13.3	19.6	18.5	19.1	21.8	17.8	15.4	13.7	15.2	
		在庫額	前年比%	2.6	10.1	20.2	16.5	19.5	20.5	23.7	21.0	19.7	
		うち鉱物	前年比%	3.5	2.8	20.8	5.9	16.0	25.5	34.0	44.9	36.7	
		うち素材	前年比%	3.0	8.6	25.4	21.2	24.4	25.2	30.3	25.3	23.9	
		うち機械	前年比%	3.4	17.9	19.5	16.7	19.7	19.9	21.5	19.3	17.1	
	所得 雇用	発電量	前年比%	13.3	14.2	15.0	16.3	16.5	12.9	14.6	14.7	12.7	
		都市家庭一人当たり所得	前年比%	18.2	12.0	11.8	12.7	12.4	11.0	11.1	11.5	12.2	
		鉱工業雇用者数	前年比%	0.3	11.9	7.2	7.8	7.3	6.8	7.0	4.9	8.5	
		労働力市場求人倍率	期末	0.89	0.88	0.88	0.89	0.93	0.94	0.94	0.94		
	物価	製造業/全産業求人比率	期末%	25.8	31.6	31.6	34.7	32.0	32.9	31.9	33.5		
		消費者物価指数	前年比%	0.8	1.2	3.9	2.8	4.4	5.3	3.2	2.8	1.8	
		うち食品	前年比%	0.6	3.4	10.0	7.2	12.0	13.8	6.9	6.1	3.1	
	金融	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	2.5	2.6	1.4	1.8	1.5	1.1	1.1	0.8	0.5	
		生産者物価指数	前年比%	2.3	2.3	6.1	3.6	5.7	7.0	7.9	5.6	5.9	
香港	G D P	マネーサプライ(M2)	前年比%	16.9	19.6	14.5	19.1	16.4	14.1	14.5	14.2	14.1	
		インターパンク金利(翌日物)	期中平均%	2.12	2.17	2.11	2.05	2.09	2.23	2.06	1.93	1.79	
		株価指数(上海総合)	期末	1,358	1,497	1,267	1,742	1,399	1,397	1,267	1,181	1,159	
		為替レート(元/ドル)	期中平均	8.28	8.28	8.28	8.28	8.28	8.28	8.28	8.28	8.28	
		為替レート(円/元)	期中平均	15.1	14.0	13.1	12.9	13.3	13.3	12.8	12.6	13.0	
	消費	実質 G D P 成長率	前年比%	1.9	3.1	8.1	7.3	12.0	6.6	7.1	6.0		
		うち民間消費	前年比%	1.1	1.1	6.9	5.7	10.9	5.3	5.9	4.6		
		うち固定資本形成	前年比%	4.5	0.9	4.1	5.1	11.5	2.1	1.4	2.2		
	不動産	名目 G D P 成長率	前年比%	1.7	3.2	5.1	3.0	8.8	3.9	4.9	4.0		
		小売販売数量指數	前年比%	2.6	0.6	9.1	7.3	15.6	6.7	7.3	7.6	7.8	
	貿易	不動産価格指數	前年比%	11.1	12.0	26.7	17.3	29.0	31.2	29.5	21.8	18.4	
		うち家屋160m ² 超(香港島)	前年比%	6.4	0.2	44.9	35.1	47.5	43.9	52.7	23.1	61.7	
		不動産販売取引件数(香港域内)	前年比%	5.1	2.8	40.6	99.0	65.6	6.9	17.1	13.2	57.0	
	物価	貿易収支	10港HKドル	60.0	66.5	93.7	34.1	34.9	15.3	9.4	26.1	10.2	
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	5.4	11.6	15.8	13.0	17.7	17.1	15.3	10.5	7.8	
	金融	輸入(香港ドルベース)	前年比%	3.3	11.6	16.8	15.8	21.9	18.2	11.7	8.1	3.8	
		消費者物価指数	前年比%	3.0	2.6	0.4	1.8	0.9	0.8	0.2	0.4	0.4	
	ハンセン指数	期末%	9,321	12,576	14,230	12,682	12,286	13,120	14,230	13,517	13,909	13,867	

(出所) CEIC 他 (注) 不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

2. 中国の主要指標解説：高成長の原動力、海外からの直接投資

- ・ 高成長を続ける中国経済の原動力といえるのが海外企業による中国への積極的な直接投資である。中国の外資導入は79年の経済特区建設から始まった。その後、92年の鄧小平氏による改革・開放加速の号令（「南巡講和」）で直接投資の流入に弾みが付き、97年のアジア通貨危機の影響で一旦、スローダウンしたものの、2001年のWTO加盟を契機に再び、拡大基調となり、現在に至っている（図表1）。2005年1～3月期は前年からの引き締め政策の影響もあり、実行ベースで見て一服感が見える。しかし、投資意欲を示す契約金額は依然として高水準であり、対中直接投資が失速する可能性は低いと見られる。
- ・ 外資の投資先は足元でも約9割が上海など東部に集中しており、地域間の経済格差拡大の一因になっていると見られる。中国政府は東北振興、西部大開発政策などにより格差縮小を目指しているが、海外直接投資の誘致という面においてはまだ緒に付いたばかりといえそうである（図表2）。
- ・ 投資主体は香港勢を中心とするNIEs諸国である。台湾企業による迂回投資が多いと言われるバージン諸島からの投資を含めれば約6割がNIEs企業からの投資で占められている（次頁図表3）。先進諸国については近年、米国のシェアが低下する一方で欧州勢のシェアが拡大している点が注目される。
- ・ 業種別には、「世界の工場」の呼び名の通り製造業が7割を占めるが（次頁図表4）、WTO加盟時の公約に基づき、徐々に対外開放分野が拡大しており、今後はサービス業への投資の拡大が見込まれている。なお、各地で産業の高度化に資する業種への投資促進政策が打ち出されており、今後、製造業投資の中身も変わっていくと見られる。
- ・ ところで、最近は大幅な貿易黒字を背景に中国企業の対外投資が奨励されるようになっている。資本の内外交流が双方向で拡大することにより、中国経済のグローバル化も今後、一段と進展すると見られる。

図表1. 高成長の原動力、海外からの直接投資 図表2. 直接投資の約9割が東部に流入



	東部 (北京、天津、河北、遼寧、上海、江蘇、浙江、福建、山東、廣東、海南)		中部 (山西、吉林、黑龍江、安徽、江西、河南、湖北、湖南)		西部 (四川、重慶、貴州、雲南、チベット、陝西、甘肅、青海、寧夏、新疆、内蒙古、広西)	
	(百万ドル)	(シェア)	(百万ドル)	(シェア)	(百万ドル)	(シェア)
97	37,679	83%	4,714	10%	2,507	6%
98	38,604	85%	4,329	10%	2,351	5%
99	34,415	85%	3,683	9%	1,837	5%
00	34,886	86%	3,594	9%	1,852	5%
01	40,344	86%	4,101	9%	2,922	6%
02	45,457	86%	5,009	9%	2,005	4%
03	45,386	85%	5,831	11%	1,723	3%
04	52,098	86%	6,680	11%	1,744	3%

(出所)CEIC

図表3. 投資主体はNIEs勢が大半を占める

	NIEs				ASEAN4								日本	米国	欧州	バージン諸島	その他
	香港	台湾	韓国	シンガポール	タイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン									
金額(百万ドル)																	
97	28,670	20,632	2,142	3,289	2,606	811	80	382	156	194	4,326	3,239	4,171	0	1,133		
98	26,631	18,508	1,803	2,915	3,404	794	69	340	179	205	3,400	3,898	3,978	0	1,037		
99	22,879	16,363	1,275	2,599	2,642	632	129	238	117	148	2,973	4,216	4,479	0	934		
00	21,458	15,500	1,490	2,297	2,172	665	147	203	111	204	2,916	4,384	4,467	3,833	1,051		
01	23,993	16,717	2,152	2,980	2,144	826	160	263	209	194	4,348	4,433	4,175	5,042	1,197		
02	26,890	17,861	2,721	3,971	2,337	863	122	368	186	188	4,190	5,424	3,704	6,117	1,585		
03	27,624	17,700	4,489	3,377	2,058	795	150	251	220	174	5,054	4,199	3,929	5,777	2,353		
04	30,372	18,998	6,248	3,117	2,008	901	105	385	233	179	5,452	3,941	9,447	6,730	6,123		
05	25,126	14,244	6,315	2,876	1,691	674	87	234	276	78	6,294	3,121	9,177	6,864	5,453		
全体に占めるシェア(%)																	
97	63.3	45.6	4.7	7.3	5.8	1.8	0.2	0.8	0.3	0.4	9.6	7.2	9.2	0.0	2.5		
98	58.6	40.7	4.0	6.4	7.5	1.7	0.2	0.7	0.4	0.5	7.5	8.6	8.8	0.0	2.3		
99	56.7	40.6	3.2	6.4	6.6	1.6	0.3	0.6	0.3	0.4	7.4	10.5	11.1	0.0	2.3		
00	52.7	38.1	3.7	5.6	5.3	1.6	0.4	0.5	0.3	0.5	7.2	10.8	11.0	9.4	2.6		
01	51.2	35.7	4.6	6.4	4.6	1.8	0.3	0.6	0.4	0.4	9.3	9.5	8.9	10.8	2.6		
02	51.0	33.9	5.2	7.5	4.4	1.6	0.2	0.7	0.4	0.4	7.9	10.3	7.0	11.6	3.0		
03	51.6	33.1	8.4	6.3	3.8	1.5	0.3	0.5	0.4	0.3	9.4	7.8	7.3	10.8	4.4		
04	50.1	31.3	10.3	5.1	3.3	1.5	0.2	0.6	0.4	0.3	9.0	6.5	15.6	11.1	10.1		
05	46.8	26.5	11.8	5.4	3.1	1.3	0.2	0.4	0.5	0.1	11.7	5.8	17.1	12.8	10.2		

(注)05年は05年1-3月期の年率換算値。地域別統計の合計と実行額年次統計の数値は一致しない。

(出所)CEIC

図表4. 直接投資の7割が製造業への投資

	農林漁業	鉱業	製造業	金額(百万ドル)								電気ガス水道	建設	運輸倉庫通信	卸小売	飲食	金融保険	不動産	その他サービス
				繊維	化学	医薬品	一般機械	特殊機械	電子通信機器										
金額(百万ドル)																			
97	630	940	28,120	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	2,070	1,440	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	5,170	n.a.		
98	624	578	25,582	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	3,103	2,064	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	6,410	n.a.		
99	710	557	22,603	1,371	1,919	684	977	510	3,146	3,703	917	n.a.	n.a.	n.a.	98	5,588	n.a.		
00	676	583	25,844	1,368	1,795	523	1,043	527	4,594	2,242	905	n.a.	n.a.	n.a.	76	4,658	n.a.		
01	899	811	30,907	1,917	2,199	622	1,327	774	7,092	2,273	807	n.a.	n.a.	n.a.	35	5,137	n.a.		
02	1,028	581	36,800	2,279	2,449	684	1,289	1,025	8,136	1,375	709	n.a.	n.a.	n.a.	107	5,663	n.a.		
03	1,001	336	37,467	2,192	2,602	770	1,561	1,225	6,347	1,295	612	867	1,116	n.a.	232	5,236	5,343		
04	1,114	538	43,017	2,352	2,656	674	2,171	1,897	7,059	1,136	772	1,273	740	841	252	5,950	4,079		
05	664	188	39,471	1,878	3,158	395	1,919	1,806	8,124	2,010	500	829	749	415	23	4,005	3,953		
全体に占めるシェア(%)																			
97	1.4	2.1	62.1	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	4.6	3.2	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	11.4	n.a.		
98	1.4	1.3	56.3	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	6.8	4.5	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	14.1	n.a.		
99	1.8	1.4	56.1	3.4	4.8	1.7	2.4	1.3	7.8	9.2	2.3	n.a.	n.a.	n.a.	0.2	13.9	n.a.		
00	1.7	1.4	63.5	3.4	4.4	1.3	2.6	1.3	11.3	5.5	2.2	n.a.	n.a.	n.a.	0.2	11.4	n.a.		
01	1.9	1.7	65.9	4.1	4.7	1.3	2.8	1.7	15.1	4.8	1.7	n.a.	n.a.	n.a.	0.1	11.0	n.a.		
02	1.9	1.1	69.8	4.3	4.6	1.3	2.4	1.9	15.4	2.6	1.3	n.a.	n.a.	n.a.	0.2	10.7	n.a.		
03	1.9	0.6	70.0	4.1	4.9	1.4	2.9	2.3	11.9	2.4	1.1	1.6	2.1	n.a.	0.4	9.8	10.0		
04	1.8	0.9	71.0	3.9	4.4	1.1	3.6	3.1	11.6	1.9	1.3	2.1	1.2	1.4	0.4	9.8	6.7		
05	1.2	0.4	73.7	3.5	5.9	0.7	3.6	3.4	15.2	3.8	0.9	1.5	1.4	0.8	0.0	7.5	7.4		

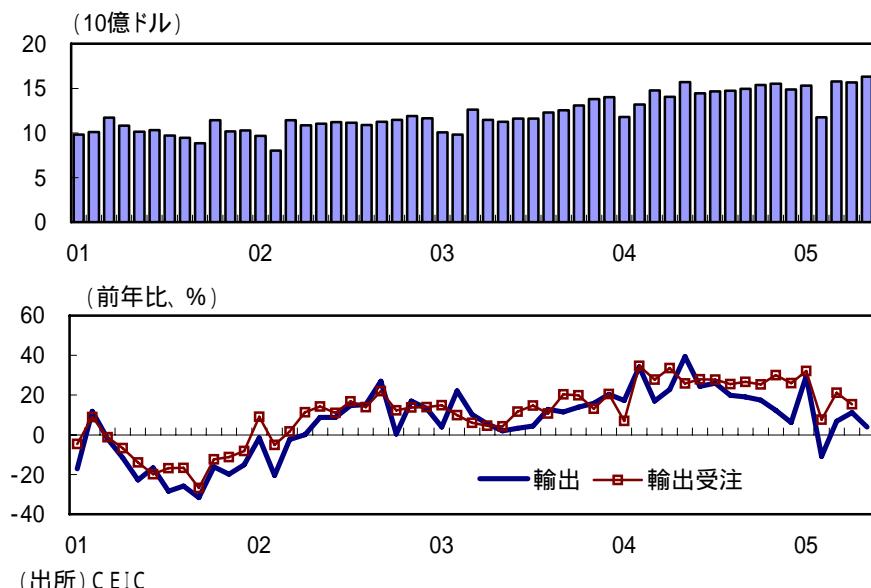
(注)05年は05年1-3月期の年率換算値。業種別統計の合計と実行額年次統計の数値は一致しない。

(出所)CEIC

3. 台湾経済の概況

- 景気は底堅く推移している。5月の輸出の前年比伸び率は4月の11.2%から4.0%に鈍化したが、これは前年同月の水準が高かったためであり（鉱工業生産も同様）輸出額水準は単月としては過去最高となった。5月の輸出受注額も前月に比べ伸び率が鈍化しているが、前年比13.2%増と依然として堅調であり、輸出は当面、底堅く推移しよう。また雇用環境の改善を受け、消費も堅調が見込まれている。
- 物価は台湾ドル高の影響で卸売物価が下落基調にあり、インフレ懸念は小さい。

台湾：輸出の伸びは鈍化するも水準は依然として高い



台湾の主要経済指標

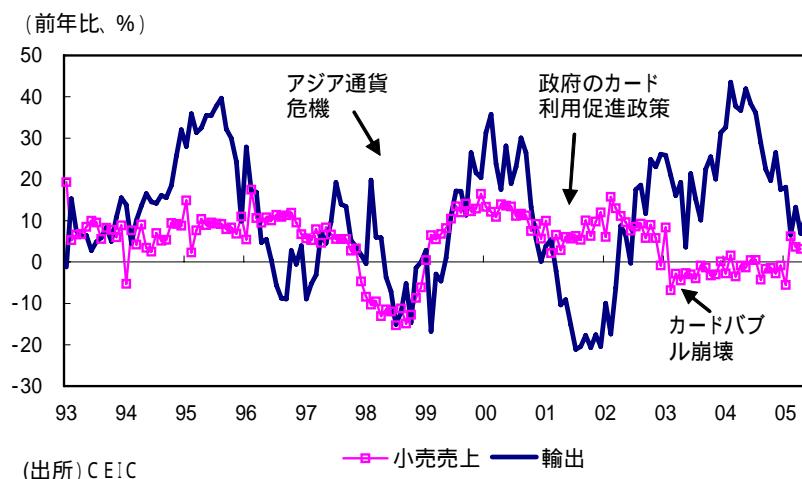
		2002年	2003年	2004年	04/1Q	2Q	3Q	4Q	05/1Q	05/4月	05/5月
GDP (yoy)	実質GDP	3.9	3.3	5.7	6.7	7.9	5.3	3.3	2.5		
	うち民間消費	2.1	0.8	3.1	3.7	4.3	1.4	3.3	3.0		
	うち総固定資本形成	1.6	2.0	15.4	13.6	19.4	13.7	14.9	11.9		
	(うち民間企業)	3.1	1.6	28.2	21.8	33.1	26.4	30.4	15.5		
生産	鉱工業生産(yoy)	7.9	7.1	9.8	14.1	15.3	8.7	2.6	0.4	0.9	1.4
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	18.1	16.9	6.1	1.9	1.9	2.5	0.2	0.3	0.1	0.2
	輸出(yoy)	6.3	10.4	20.7	22.3	28.8	21.5	11.9	7.8	11.2	4.0
	輸出受注(yoy)	11.2	12.6	26.5	22.7	29.1	26.7	27.1	20.1	15.4	13.2
	輸入(yoy)	4.9	13.1	31.9	31.2	39.7	31.9	26.1	12.6	18.8	11.3
雇用	経常収支(10億ドル)	25.6	29.3	18.7	5.9	5.6	5.3	1.8	4.2		
	外貨準備高(10億ドル)	162	207	242	227	230	233	242	251	253	253
物価	失業率	5.2	5.0	4.4	4.5	4.4	4.6	4.2	4.2	4.0	4.1
金融	消費者物価(yoy)	0.2	0.3	1.6	0.5	1.2	2.9	1.8	1.6	1.6	2.3
	M2サプライ(M2,yoy)	2.6	5.8	7.4	8.4	8.0	7.0	7.4	5.6	5.5	
	株価指数(加権指数)	4,452	5,891	6,140	6,522	5,839	5,846	6,140	6,006	5,818	6,012
	短期金利(オーバーナイト)	2.05	1.12	1.04	0.99	0.99	1.05	1.14	1.21	1.27	1.27
	為替レート(NT\$ドル/米ドル)	34.6	34.4	33.4	33.4	33.4	34.0	32.9	31.5	31.5	31.3
	為替レート(円/NT\$ドル)	3.62	3.37	3.24	3.21	3.29	3.24	3.21	3.31	3.40	3.41

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. 韓国経済の概況

- 景気は足踏み状態が続いている。景気の牽引役である輸出は5月には再び前年比11.2%増と二桁台の伸びとなったものの、中国、米国の二大輸出市場が調整局面にある上に、人民元切り上げ観測に伴うウォンの連れ高により、低迷基調にある。
- 一方、2002年のクレジットカード・バブル崩壊後、低迷していた個人消費に持ち直しの兆しが見えるものの、輸出の低迷を背景に消費者マインドは再び悪化（消費者期待指数：4月101.3 5月99.2）しており、輸出に代わるほどの力強さを期待できる状況ではない。また、足元、不動産価格の大幅な上昇がリスク要因として浮上しているが景気腰折れ懸念から当面、利上げはない見られている。

韓国：輸出鈍化で個人消費の持ち直しも力強さに欠ける



韓国的主要経済指標

		2002年	2003年	2004年	04/1Q	2Q	3Q	4Q	05/1Q	05/4月	05/5月
GDP (yoy)	実質GDP	7.0	3.1	4.7	5.2	5.6	4.9	3.0	2.7		
	うち民間消費支出	7.9	1.2	0.5	1.3	0.5	0.7	0.5	1.4		
	うち固定資本形成	6.7	3.9	2.2	2.5	4.3	3.4	1.3	0.3		
	うち設備	7.5	1.2	3.8	0.3	6.1	7.3	2.3	3.1		
生産	鉱工業生産(yoy)	8.0	5.0	10.4	11.3	12.7	11.5	6.7	3.8	3.8	
消費	小売売上高(数量,yoy)	8.2	2.0	1.4	1.7	0.6	1.7	1.7	1.2	3.2	
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	10.3	15.0	29.4	6.5	8.7	6.9	7.3	6.4	1.8	2.0
	輸出(yoy)	8.0	19.3	31.0	37.8	38.9	28.9	21.2	12.7	6.9	11.2
	輸入(yoy)	7.8	17.6	25.5	19.4	32.5	27.3	23.6	14.4	12.5	18.3
金融	经常収支(10億ドル)	5.4	11.9	27.6	6.1	7.0	7.1	7.4	6.0	0.9	
	外貨準備高(10億ドル)	121	155	199	164	167	174	199	205	206	206
雇用	失業率(季節調整済み)	3.1	3.4	3.5	3.8	3.3	3.4	3.4	3.9	3.6	3.4
物価	消費者物価(yoy)	2.8	3.5	3.6	3.2	3.4	4.3	3.4	3.1	3.1	3.1
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	14.0	3.0	5.2	2.9	5.2	6.7	5.2	4.7	5.7	
	株価指数(総合)	628	811	896	881	786	835	896	966	911	970
	為替レート(ウォン/ドル)	1,247	1,192	1,140	1,168	1,162	1,158	1,071	1,020	1,002	1,003
	為替レート(円/100ウォン)	10.0	9.6	9.5	9.2	9.4	9.6	9.8	10.4	10.6	10.8
	CDレート(3ヵ月物)	4.81	4.31	3.79	4.09	3.91	3.71	3.44	3.54	3.52	3.51

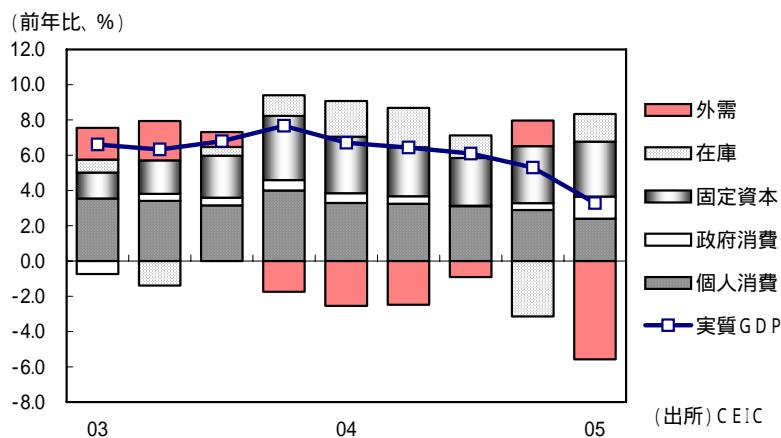
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

. ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- 景気拡大テンポの鈍化が続いている。2005年1~3月期の実質GDP成長率は、津波、旱魃、原油高の影響から外需の寄与度が大幅なマイナスに転じたことを主因に、前年比3.3%に鈍化した。こうした中で、タイ政府は05年通年の成長率見通しを1%ポイント下方修正し、4.5%~5.5%とした。
- 一方、タイ中銀は6月9日、インフレ懸念と通貨防衛から政策金利を0.25%ポイント引き上げ2.5%とした。原油高等から05年通年の経常収支は赤字に転落する可能性が高い。

タイ：津波、旱魃、原油高から外需寄与度が大幅マイナスに転じて成長率押し下げ



タイの主要経済指標

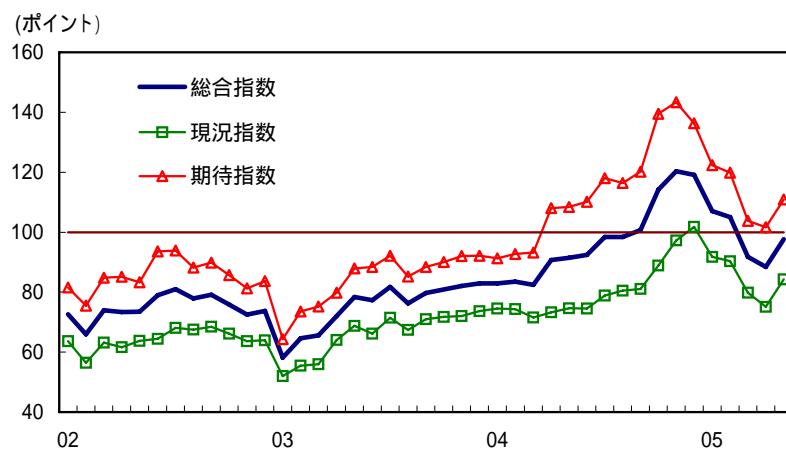
	2002年	2003年	2004年	04/1Q	2Q	3Q	4Q	05/1Q	05/4月	05/5月
GDP (yoy)	実質GDP	5.3	6.9	6.1	6.7	6.4	6.1	5.3	3.3	
	民間消費	5.3	6.4	5.7	6.2	5.7	5.6	5.4	4.5	
	総固定資本形成	6.5	11.9	14.4	16.7	12.9	12.0	16.2	14.8	
生産	製造業生産指数(yoy)	9.0	13.8	11.1	13.5	9.4	12.5	9.1	3.7	5.1
消費	総合消費指数(yoy)	4.6	5.4	3.7	4.4	5.3	3.8	1.4	0.4	0.7
投資	民間企業投資指数(yoy)	21.3	13.6	12.8	18.2	17.7	13.2	3.4	3.5	4.0
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.6	5.2	2.7	0.5	0.1	0.3	1.7	3.0	1.5
	輸出(yoy)	5.4	16.4	21.8	19.2	23.1	25.0	20.0	12.4	13.1
	輸入(yoy)	4.0	16.6	26.6	25.8	35.0	29.9	17.3	28.6	30.1
国際収支	経常収支(10億ドル)	7.0	8.0	7.3	2.2	0.6	1.5	3.0	1.5	1.6
	外貨準備高(10億ドル)	38.9	42.1	49.8	43.0	43.3	44.8	49.8	48.7	49.2
雇用	失業率(季調前)	2.4	2.2	2.1	2.8	2.5	1.6	1.5	2.6	2.2
物価	消費者物価(総合,yoy)	n.a.	1.8	2.8	1.9	2.7	3.3	3.2	2.8	3.6
	消費者物価(コア,yoy)	n.a.	0.1	0.4	0.1	0.4	0.6	0.6	0.7	1.2
金融	マネーウェイ(M2,yoy)	2.6	4.9	5.4	6.4	5.8	6.5	5.4	4.1	2.7
	商銀貸出残高(yoy)	7.5	3.6	6.7	4.4	6.9	9.8	6.7	5.7	4.8
	不良債権比率(3M基準,%)	15.7	12.6	10.8	11.9	12.2	11.4	10.8	10.9	
	株価指数(SSET)	356	772	668	647	647	645	668	681	659
	為替レート(¥~\$/)	43.0	41.5	40.2	39.2	40.2	41.3	40.2	38.6	39.5
	為替レート(円/¥~\$)	2.9	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.6	2.7	2.7
	インバウンド金利(3M)	2.15	1.56	1.62	1.38	1.31	1.63	2.17	2.50	2.65

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- 景気は、内外からの信認の回復を背景とした投資・消費の持ち直しから堅調に推移している。05年1~5月期の海外直接投資（承認額）は前年比96.9%増と大幅に拡大。インドネシア経済への信認が一段と強まっていることが示唆される。
- 一方、昨年12月以降、政府の石油燃料価格引き上げ計画（05年3月1日より実施）により悪化していた消費者信頼感も、雇用・所得環境の改善を背景に、5月には半年ぶりに上昇に転じた。こうした中で、自動車など耐久消費財の販売も好調に推移しており、消費は堅調に推移している。懸念材料は物価の動向である。3月の燃料価格引き上げに続いて、7月1日からタバコの小売価格が15%引き上げられる。インフレ加速と金利上昇が再び消費者マインドを冷やすことが懸念される。

インドネシア：改善する消費者信頼感



インドネシアの主要経済指標

		2002年	2003年	2004年	04/1Q	2Q	3Q	4Q	05/1Q	05/4月	05/5月
GDP (yoy)	実質GDP	4.4	4.9	5.1	4.4	4.4	5.1	6.7	6.3		
	民間消費支出	3.8	3.9	4.9	5.7	5.3	5.0	3.8	3.2		
	総固定資本形成	4.7	1.0	15.7	11.5	13.1	19.7	18.3	15.0		
生産	製造業生産(yoy)	7.1	3.9	4.1	2.3	2.0	2.6	9.7	2.9		
消費	小売売上(yoy)	5.6	7.0	7.3	17.2	8.5	2.1	3.2	11.9	10.0	12.1
輸出入	貿易収支(10億ドル)	25.9	28.5	25.1	4.8	6.0	7.1	7.1	6.5	1.7	
	輸出(yoy)	1.5	6.8	17.2	0.7	9.7	27.7	32.1	32.2	28.0	
	(除く石油・ガス,yoy)	3.1	5.2	18.0	1.0	6.7	30.2	33.3	35.1	27.1	
	輸入(yoy)	1.1	4.0	42.9	21.8	40.8	55.8	53.5	31.2	41.5	
国際収支	经常収支(10億ドル)	7.8	8.1	3.1	2.2	2.2	2.8	0.3	2.5		
	外貨準備高(10億ドル)	32.0	36.3	36.3	37.4	34.9	34.8	36.3	36.0	36.4	34.6
物価	消費者物価(yoy)	n.a.	6.8	6.1	4.8	6.4	6.7	6.3	7.8	8.1	7.4
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	4.7	8.1	8.1	6.5	9.1	8.3	8.1	9.1	12.2	
	株価指数(総合)	425	692	1,000	736	732	820	1,000	1,080	1,030	1,088
	為替レート(ルピア/ドル)	9,261	8,571	8,985	8,492	9,095	9,222	9,133	9,302	9,570	9,495
	為替レート(円/100ルピア)	1.35	1.35	1.20	1.26	1.21	1.19	1.16	1.12	1.12	1.12
	中銀債金利(3ヶ月)	15.25	10.17	7.39	7.72	7.25	7.30	7.30	7.29	7.51	7.81

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

マレーシアの主要経済指標

		2002年	2003年	2004年	04/1Q	2Q	3Q	4Q	05/1Q	05/4月	05/5月
GDP (yoy)	実質GDP	4.4	5.4	7.1	7.8	8.4	6.7	5.8	5.7		
	民間消費	4.4	6.6	10.5	8.9	11.9	11.2	10.2	10.1		
	総固定資本形成	0.3	2.7	3.1	3.5	3.5	3.2	2.2	2.0		
生産	鉱工業生産(yoy)	4.6	9.3	11.3	14.3	13.3	10.5	7.6	5.4	6.4	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	14.3	21.4	21.2	5.1	4.8	6.0	5.4	6.6	8.3	
	輸出(yoy)	6.9	11.6	20.5	17.3	22.0	26.9	16.1	13.7	9.4	
	輸入(yoy)	8.0	4.8	25.9	23.5	32.1	29.9	18.9	10.1	4.7	
国際収支	经常収支(10億ドル)	8.0	13.4	14.9	14.5	12.4	16.7	12.9			
	外貨準備高(10億ドル)	35	45	67	51	54	57	67	72	74	75
雇用	失業率(%)	3.5	3.6	3.6	3.8	3.7	3.4	3.3			
物価	消費者物価(yoy)	1.8	1.1	1.4	0.9	1.2	1.5	2.1	2.4	2.7	3.1
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	5.8	11.1	25.4	12.5	11.4	17.9	25.4	25.7	24.7	
	貸出残高(yoy)	4.1	5.2	26.0	6.3	6.6	14.4	26.0	26.5	26.1	
	不良債権比率(3M基準,%)	10.2	8.9	7.5	9.0	8.4	8.1	7.5	7.3	7.4	
	株価指数(総合)	646	794	907	902	820	850	907	871	879	861
	為替レート(リヤー/\$)	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80
	為替レート(円/リヤー)	33.0	30.5	28.5	28.2	28.9	28.9	27.8	27.5	28.2	28.1
	インバーツク金利(3M,%)	2.92	2.88	2.84	2.86	2.86	2.82	2.81	2.79	2.80	2.84

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

フィリピンの主要経済指標

		2002年	2003年	2004年	04/1Q	2Q	3Q	4Q	05/1Q	05/4月	05/5月
GDP (yoy)	実質GDP	4.3	3.6	6.1	6.4	6.4	6.3	5.4	4.6		
	民間消費支出	4.1	5.3	5.8	5.7	6.3	5.5	5.7	5.0		
	固定資本形成	1.4	3.1	4.2	5.0	3.9	3.6	4.3	2.4		
生産	鉱工業生産(yoy)	6.1	0.0	1.0	4.1	0.7	1.3	7.6	1.7		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	0.2	1.3	0.7	0.6	0.6	0.1	0.6	0.1		
	輸出(yoy)	9.5	2.9	9.3	6.3	10.8	8.4	11.5	3.6	8.8	
	輸入(yoy)	7.2	5.8	7.5	6.4	7.8	9.7	6.0	3.6		
国際収支	经常収支(10億ドル)	4.4	1.4	2.1	0.3	0.3	0.4	1.7	0.0		
	外貨準備高(10億ドル)	12.8	13.9	14.4	13.6	13.9	14.0	14.4	15.4	15.6	16.3
物価	消費者物価(yoy)	n.a.	3.5	6.0	4.1	4.7	6.9	8.1	8.5	8.5	8.5
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.5	3.3	9.4	4.8	5.6	5.5	9.4	12.2		
	株価指数(総合)	1,018	1,442	1,823	1,424	1,579	1,762	1,823	1,955	1,855	1,929
	為替レート(ペソ/ドル)	51.7	54.4	56.2	56.2	56.0	56.2	56.3	54.9	54.5	54.4
	為替レート(円/ペソ)	2.42	2.13	1.93	1.91	1.96	1.96	1.88	1.90	1.97	1.96
	TB(3ヵ月,%)	5.50	5.87	7.32	6.71	7.30	7.44	7.83	7.02	6.63	6.10

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

シンガポールの主要経済指標

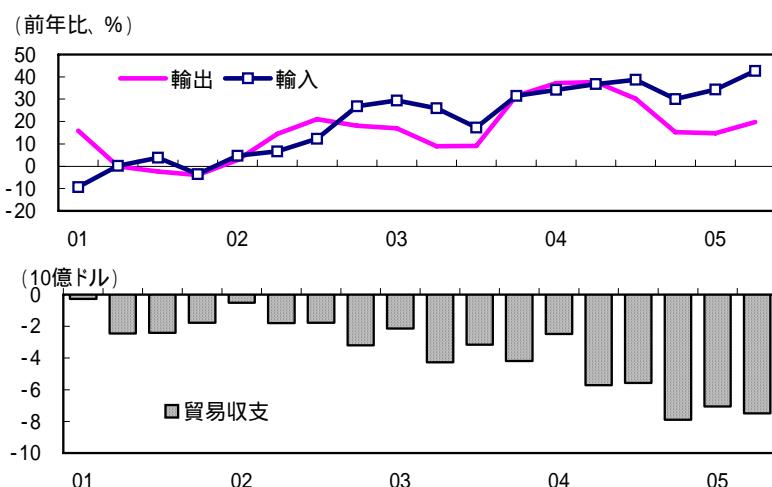
		2002年	2003年	2004年	04/1Q	2Q	3Q	4Q	05/1Q	05/4月	05/5月
GDP (yoy)	実質GDP	3.1	1.3	8.4	7.9	12.3	7.3	6.5	2.5		
	民間消費	3.0	0.5	8.6	8.1	12.8	7.2	6.6	1.9		
	総固定資本形成	10.5	5.1	8.1	11.7	11.1	9.7	0.2	6.1		
生産	鉱工業生産(yoy)	7.6	3.0	13.9	10.8	20.0	11.6	13.7	2.5	5.9	
消費	小売売上指数(yoy)	1.0	8.7	13.5	23.8	14.3	9.7	7.6	6.2	15.3	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	8.7	16.2	16.1	3.3	3.8	4.1	4.9	3.4	1.7	2.8
	輸出(yoy)	2.8	15.2	24.6	18.6	29.1	28.5	22.2	14.7	10.5	11.5
	輸入(yoy)	0.4	9.8	27.8	22.8	30.9	34.1	23.7	16.0	10.2	9.0
国際収支	经常収支(10億ドル)	18.9	27.0	27.9	9.9	10.7	13.4	13.1	11.7		
	外貨準備高(10億ドル)	82	96	113	103	102	103	113	113	117	116
雇用	失業率(季調,%)	4.4	4.8	4.0	4.5	4.3	3.6	3.7	3.9		
物価	消費者物価(yoy)	0.4	0.5	1.7	1.2	1.9	1.9	1.7	0.3	0.4	
金融	マネーサプライ(M2,%)	0.3	8.1	6.2	9.9	10.7	8.4	6.2	4.3	3.3	
	株価指数(ストレイト)	1,341	1,765	2,066	1,859	1,838	1,985	2,066	2,141	2,125	2,162
	為替レート(S\$/ドル)	1.791	1.742	1.690	1.695	1.702	1.707	1.657	1.636	1.653	1.651
	為替レート(円/S\$)	70.0	66.5	64.0	63.2	64.5	64.4	63.8	63.9	64.8	64.6
	インバーツク金利(3M,%)	0.94	0.74	1.05	0.75	0.77	1.27	1.40	1.92	2.13	2.06

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. インド経済の概況

- 輸出・生産の堅調な拡大が続いている。5月の輸出は前年比22.3%増と4月から一段と加速した。ただし、国内の経済活動の活発化を反映して輸入も同35.5%増と大幅に拡大したため、大幅な貿易赤字が続いている。4月の鉱工業生産は繊維・衣料などを中心に前年比8.8%増と好調に推移している。
- 今年の農業生産を占う6~7月期の降雨量は、降雨範囲が徐々に広がっているもののモンスーンの到来が遅れたため、6月第3週までで平年比49%少なかったとインド気象庁は報告している。早生種の栽培により少雨をカバーするなどの提案がなされているが、今後の天候が依然、注目されている。

インド：輸出を大幅に上回る輸入の拡大で貿易赤字も急増



(出所)CEIC (注)05年2Qの輸出入は4~5月期の前年同期比と収支は合計値。

インドの主要経済指標

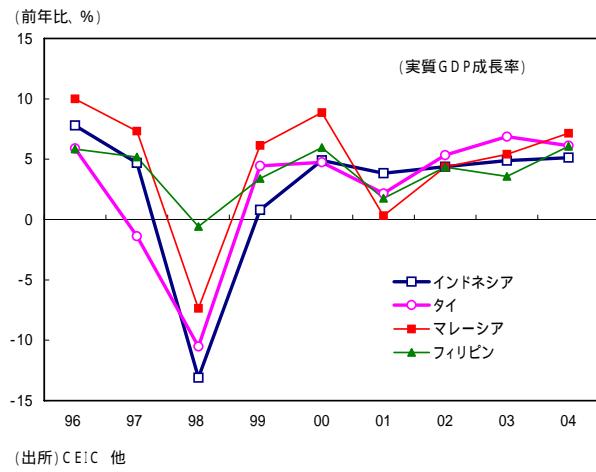
		2002年	2003年	2004年	04/1-3月	04/4-6月	04/7-9月	04/10-12月	05/1-3月	05/4月	05/5月
GDP (yoy)	実質GDP	4.8	7.3	7.1	8.4	7.4	6.6	6.2			
	農業生産	2.7	4.6	2.7	10.4	3.3	0.8	1.1			
	実質GDP(年度)	4.0	8.5								
	農業生産(年度)	7.0	9.6								
生産	鉱工業生産(yoy)	4.9	6.6	8.5	8.1	7.7	9.0	9.1	7.2	8.8	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	7.3	13.8	21.7	2.5	5.7	5.6	7.9	7.1	3.9	3.6
	輸出(yoy)	13.8	16.6	29.3	37.1	37.7	30.2	15.2	14.8	17.2	22.3
	輸入(yoy)	12.7	26.0	34.7	34.2	36.8	38.6	30.1	34.3	51.0	35.5
国際収支	经常収支(10億ドル)	7.1	6.9	1.6	5.8	2.2	4.1	5.5			
	外貨準備高(10億ドル)	67.0	97.6	125.2	107.4	114.2	114.1	125.2	135.6	136.0	133.9
物価	卸売物価(yoy)	2.5	5.3	6.6	5.8	5.4	8.0	7.2	5.3	5.8	5.5
	消費者物価(yoy)	4.3	3.8	3.8	4.0	2.7	4.2	4.2	4.2	5.0	
金融	マネーサーブライ(M3,yoy)	15.9	13.0	13.0	16.5	14.9	14.1	13.0	13.3	13.7	13.9
	株価指数(BSE Sensitive)	3,377	5,839	6,603	5,591	4,795	5,584	6,603	6,493	6,154	6,715
	為替レート(ルピー/-)	48.6	46.5	45.2	44.7	45.3	46.2	44.6	43.7	43.7	43.7
	為替レート(円/ルピー-)	2.58	2.49	2.39	2.40	2.42	2.38	2.37	2.39	2.46	2.44
	TB3ヶ月	5.93	4.92	4.70	4.33	4.41	4.69	5.35	5.30	5.12	5.20

(出所)CEIC (注)yoY = 前年比(%)、年度は4月から翌年3月

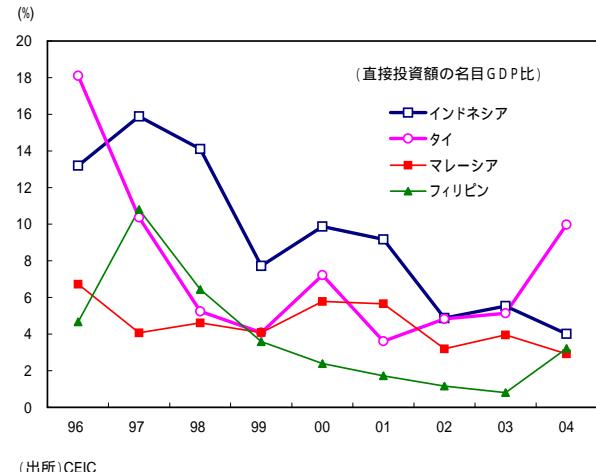
5. ASEAN経済の注目点～対ASEAN直接投資の動向

- 2004年、ASEAN諸国は総じて高成長となったが（図表1）、その要因として「中国特需」以外にタイ、フィリピンでは直接投資が持ち直し、景気拡大の押し上げ要因となったことを指摘できよう（図表2）。

図表1. 04年ASEAN諸国は揃って高成長

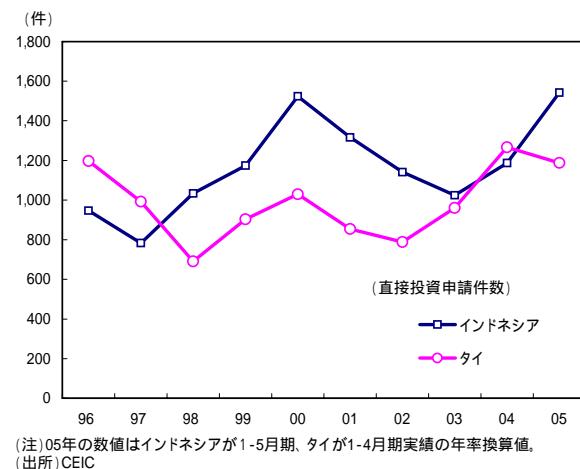


図表2. タイ、フィリピンで直投比率上昇

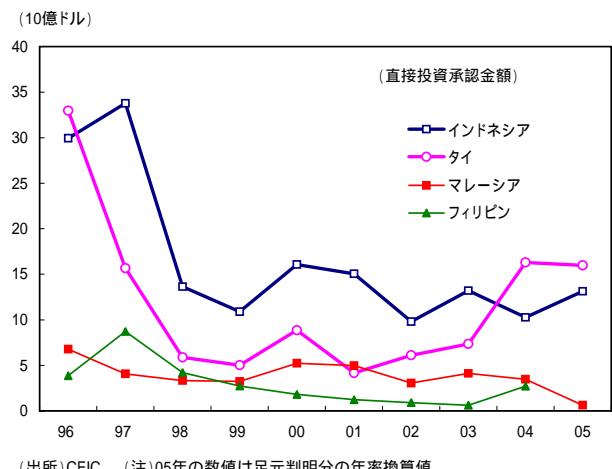


- 05年に入ると、インドネシア向け直接投資の拡大が顕著となっており（図表3、4）、今年はタイに加えて、インドネシアでも直接投資が景気押し上げ要因として寄与することが期待される。一方、マレーシアについては、直投流入額の伸び悩み傾向が見られる。ただし、05年1～3月期実績は04年10～12月期の水準が高かった反動からやや過小になっている可能性もあり、1～3月期実績で延長した図表4の05年水準ほどマレーシア向け直投流入額が減少しない可能性もある。
- いずれにせよ、97～98年のアジア通貨危機を境にASEAN諸国への直投流入水準は総じて低下している。中国、インドなどの近隣アジア諸国の市場開放が進展する中でASEANも外資導入政策の見直しを迫られていると言えよう。

図表3. 急増する対インドネシア直投申請件数



図表4. 直投承認金額ではタイが優勢

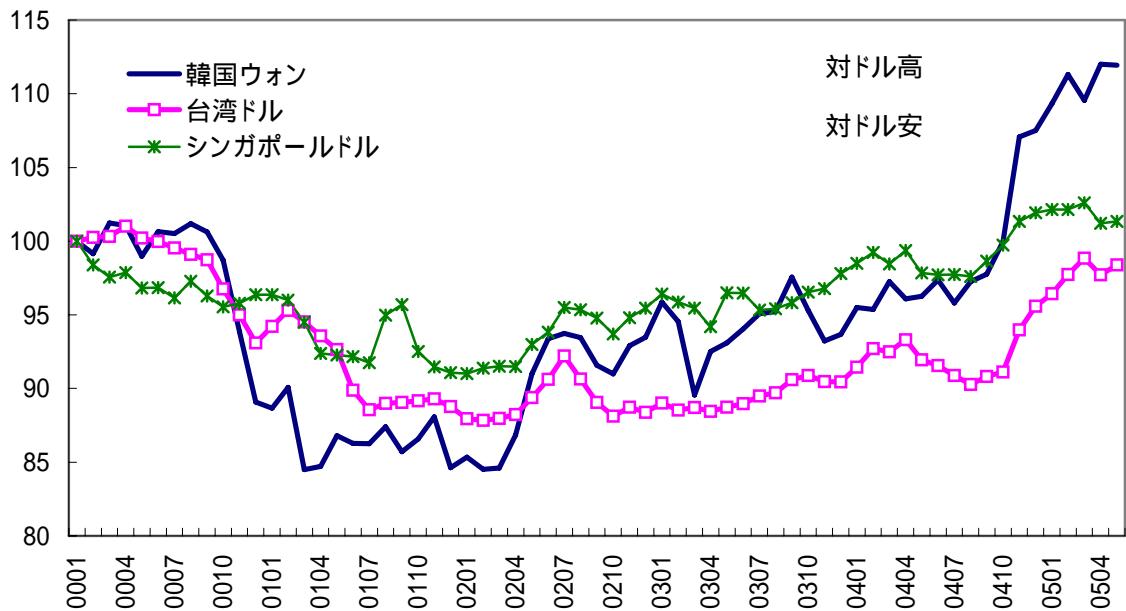


. アジア通貨・株価動向

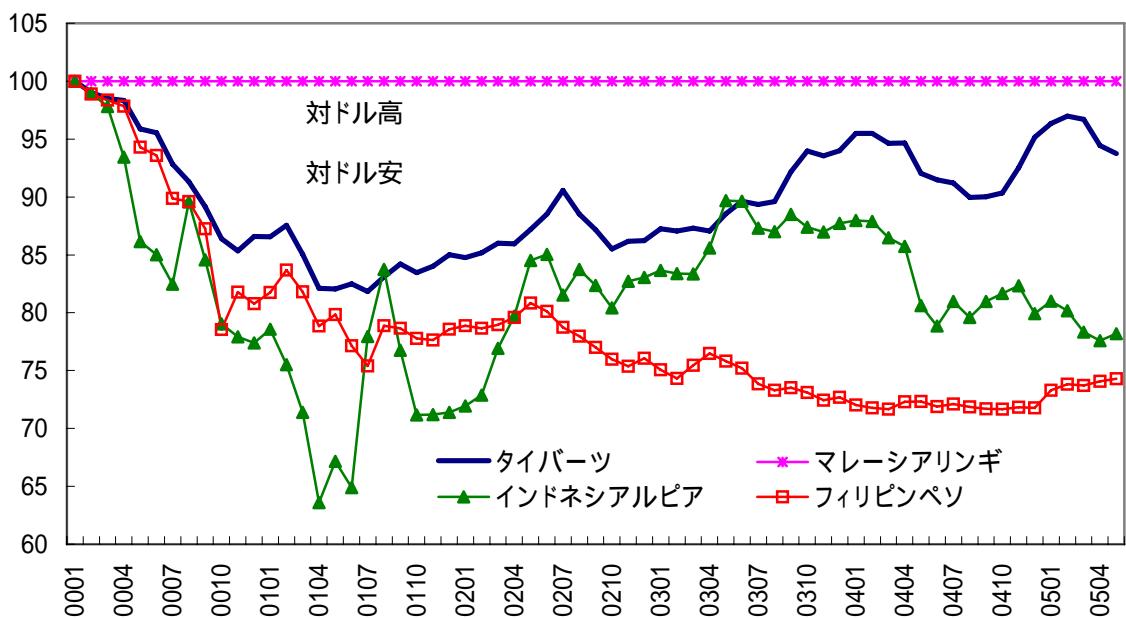
アジア通貨の対ドル相場の推移

<2000年1月 = 100>

(2000年1月 = 100)

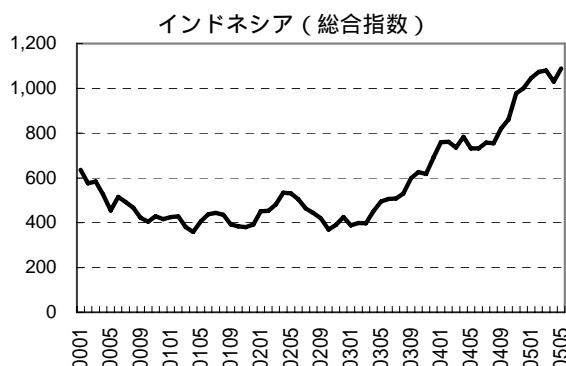
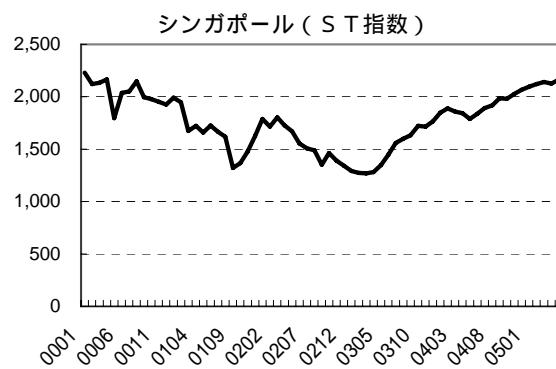
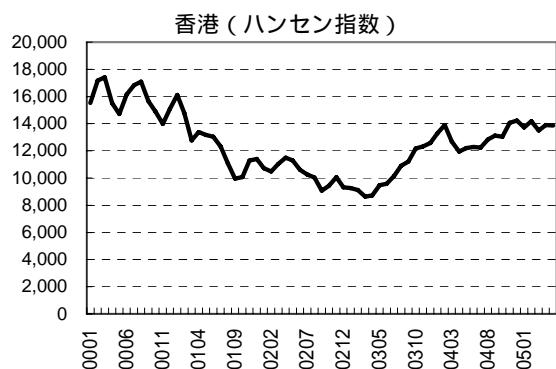


(2000年1月 = 100)



(出所) C EIC

アジア諸国の株価動向



(出所) CEIC